

## こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい  
B: よい  
C: 一部検討を要する  
D: 改善を要する

項目	内容	評価				
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念や基本方針は、職員や利用者にも周知されるよう園内に掲示したり、パンフレット、園だより、地域向けのおたよりなどに載せて周知を図るよう努力してきました。</li> <li>・理念や基本方針に基づいた教育・保育に取り組むことにより、利用者、職員ともに周知できるよう今年度は皆で意識して取り組んできました。しかし、パート職員との温度差がなかなか埋められず、話し合いの機会をさらに持ち、共通理解を図っていくことが次年度の課題です。</li> <li>・日々の教育・保育や、行事などは一つ一つ試行錯誤しながら子どもたちと話しあったり、環境を整えたりしながら取り組んできました。</li> <li>・一人一人の子どもの人格を尊重するとはどういうことなのか、皆で話し合い共通理解を行いました。</li> </ul>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中海校下の地域性を大切にし、地域に合った活動を取り入れてきました。今年度から取り組んでいる「ほのぼのデー」は地域の高齢者と一緒に遊んだり、食事をしたりして触れ合っています。今年度は、園側からお呼びすることが多かったが地域に根ざしていけるような活動となるよう願っています。</li> <li>・指導計画は、各年齢(各クラス)ごとの話し合いがなされ、立案されていましたが、入園から修了までの長期的な視野を持つということに対する意識をもっと持てるよう皆で意識していきます。</li> <li>・行事ごとに保護者からのアンケートで意見をいただきました。その都度職員会などで検討してきました。次年度は、日々の遊びの継続性を重視できるよう行事を精選していきます。</li> </ul>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか			○		
	(3) 子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーの看護師が登園完了後に各クラスを回り、一人一人の健康状態を確認し、担任と連携をとっています。クラス内でも担任同士共有するように気を付けています。</li> <li>・日々の保育や行事においても保育者との信頼関係があつてこそ、自分の力を発揮できます。子どもの気持ちを受け入れ、子どもに寄り添った教育・保育に心がけています。</li> <li>・ランチホールでの食事は、3.4.5歳児の交流の場となったり栄養士、調理師との交流の場となったりしています。クッキング活動も取り組みやすく地域の方をまきこんで食への興味関心を広げています。</li> <li>・新園舎になり、新しい園舎での環境にも慣れてきました。今後、子どもたちが自ら試行錯誤し、主体性を育んでいけるよう新園舎の環境を活かしていきます。</li> </ul>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか			○		
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・一人一人丁寧なかかわりや肯定感が持てるような声かけ、援助することの大切さを職員間で共通理解を持つようにしてきました。保護者対応に関することや保育で悩んだりしたときはクラスの中で、相談してきましたが、職員会等に投げかけて皆で考える機会を持つことも大切だと思います。そうすることにより、保護者間、職員間の信頼関係がより強くなっていきます。</p> <p>・子育てにおいてのいろいろな悩み、相談事等があるときは、保護者との面談や関係機関へつなぐなどより子どもが生活しやすいように配慮してきました。</p> <p>・小学校との連携においては、園側からのアプローチを行ったことにより1年生の担任も協力的で内容の濃い連携となりました。年長児も学校への興味関心を持ち始め、より連携が深まりました。学校より年間の計画を立てたいと要望があり、次年度は、一緒に計画を立てて、連携、接続を進めていきます。</p>
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか	○				
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか	○				<p>・保護者とのコミュニケーションを大切に信頼関係を築く努力をしてきました。保護者からの依頼があるときはすぐに対応し個別に面談の機会など設けてきました。保育参加や懇談会・講演会などを通して中海こども園の教育保育について伝えてきました。玄関にあるモニターや子どもたちの作品の展示などから教育保育の可視化を試みています。モニターには、写真ばかりでなく動画を載せることにより、より教育保育の内容が保護者に理解してもらえようになりました。</p> <p>・子育て支援室は、週3回開いています。担当者の丁寧な対応と内容の工夫により中海小学校校外からの利用も増えてきています。支援室に遊びに来て、入園につながっています。</p>
	(2) 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>フリーの看護師と未満児(0才児クラス)の看護師が職務分担しながら専門性をより活かし、感染症などの流行前に発生予防や発生後の対応(処理方法)など全職員に対する指導を繰り返し行ってきました。また、体調不良やアレルギー疾患を持つ子どもに対しても適切に対応し、保護者からも信頼されています。また、以上児に対する保健指導も行ってきました。</p> <p>・避難訓練においては、毎回の反省を活かしながら行っているつもりでしたが、評価・反省をその都度行っていなかったため、同じミスを繰り返すことがありました。次年度は訓練後に皆で評価・反省をしていきたいと思えます。また、安全点検が抜ける月がありました。次年度はそのようなことがないように危機管理や安全意識をもっていきます。</p> <p>・園内研修は、パート職員も入れ、2グループに分かれて話し合いを重ねていきました。マニュアルの確認から行い、新園舎の使い方、エピソード記録により、「子どもの主体性について」勉強会も開きました。法人研修にも参加し、「子どもの主体性を育てるため」金城短期大学の和泉先生より学びました。ドキュメンテーションの書き方についてさらに学んでみたいという職員の声に、外部講師による園内研修を行いました。今年度は自分たちで手探りで進めてきましたが、次年度は、外部講師による研修の充実を図り、質の高い教育・保育を実践できるよう努力していきます。</p> <p>・事業計画は年度初めに職員への周知を図っていましたがあまり意識されていませんでした。繰り返し周知できるように職員に話していきたいと思えます。</p> <p>・保護者からの情報は皆で共有し、守秘義務を守ることを職員間で理解しています。</p> <p>相談室を設けてあるため、いつでも利用でき、保護者のプライバシーが守られるため相談しやすい環境となっています。</p> <p>職員一人一人が年に3回の自己評価を行っています。職員自身の振り返りと園の在り方についての確認を行い、課題をみつけ、課題に対し、今後どのように取り組んでいくか話し合いの場を持ち、共通理解をしていくことが職員の資質と専門性の向上につながっていきます。</p>
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか			○		
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか			○		
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか			○		
	(10) 個人情報適切に取り扱いつともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

#### 施設関係者評価

・玄関に子ども達の作品があつて1つ1つ味があり、先生方と子ども達が作り上げた過程が見えました。アンケートでは、保護者の意見がたくさんでていて、園の様子がわかります。発表会、運動会など中海ならではの個性が出ていた様です。気を付ける点の課題が上がっていたようです。あいさつ、持ち物などは初歩中の初歩だと思いますので気を付けて行きましょう。

・パート職員との温度差がうめられないことや、共通理解を図ることの課題に対して、あれもこれもと取り組むのではなく、2〜3点にしぼって自己チェックしてみてもどうだろうか。

・地域、イベント等の行事で見せることに突っ走った感じを受けたが、職員、子ども達に負担となっていないか把握することも今後のためにいるのではないだろうか。

・上記をふまえて、遊びの継続、充実した生活ができていくよう、職員の主体性も求められていると思う。

・忘れ物が多い、避難時のミス、降園時の服装の乱れ、あいさつ等、職員の姿勢が改善につながるっていくのでは？ないでしょうか。